

関西経済連合会と関西広域連合との意見交換会（概要）

平成 27 年 8 月 20 日

関西広域連合本部事務局

○日 時 平成 27 年 7 月 23 日（木） 13:20～15:10

○場 所 リーガロイヤルNCB 2階 松の間

○出席者

（関西広域連合） 井戸広域連合長、仁坂副広域連合長、三日月委員、山田委員、飯泉委員、門川委員、竹山委員、植田副委員、林副委員、鳥居副委員

（関西経済連合会） 森会長、寺田副会長、松下副会長、牧野副会長、柏原副会長、松本副会長、角副会長、沖原副会長、佐藤副会長、坂元副会長、大竹副会長

○意見交換会のテーマと概要

（1）広域観光の推進体制について

（合意事項）

- ・（仮称）関西国際観光推進本部の設立およびそれに向けた準備委員会の早期設置について合意。

（主な発言内容）

【角副会長】（阪急電鉄㈱会長）

・観光庁の広域観光周遊ルート形成促進事業については無事認定されたので、今後こうした官民一体となった取り組みを進めていければと思う。

新たな受け皿としての体制として、来年4月に（仮称）関西国際観光推進本部を設立したい。そのために、早期に準備委員会を立ち上げ、組織や活動について詳細の検討を進めていきたいので、よろしくお願ひしたい。

→（仮称）関西国際観光推進本部の設立については、今日ここで合意をさせていただきたいと考えている。

訪日外国人観光客数は今年の上半期で900万人を超えており、年間1,800万人を、来年は2,000万人をはるかに超え、東京オリンピック時には2,500万人ぐらいに達する勢いである。

それらの受け皿を考えた場合に広域的な対処が必要であり、その点からも早急に関西国際観光推進本部をつくりたいと思っているので、ご協力をお願い申し上げます。（山田委員）

【寺田副会長】（アートコーポレーション㈱社長）

・昨年、関西広域連合とともに策定した「はなやか関西」のシンボルマークをさらに普及させ、関西ブランドの強化・発信につなげていけるよう、ご協力をお願いしたい。

海外への関西のアピールについては、関西一体で戦略的に取り組むことが必要であり、そのためにも関西国際観光推進本部のような体制を作ることが不可欠だと思う。

→「はなやか関西」PRについては、広域観光周遊ルートの英語名称を「フラワー・オブ・ジャパン・カンサイ」としているが、これは「はなやか関西」の英訳であるので、関西から外国に向かってアピールしていきたいと思っている。

そのためにも、いち早く新しい体制をつくって、広域観光周遊ルートを実のあるものにしていきたいと思っている。（山田委員）

【柏原副会長】（㈱京都銀行相談役）

- ・各地域の観光資源を商品化する動きを進めているが、関西全体で結び付け、周遊ルート化できるよう、ご協力をお願いしたい。
- ・多言語翻訳機の技術が実用化に向けて進んでおり、関西全体で観光事業者に広げていくことが必要であると考え。
 - さまざまな言語に対応していくために、スマートフォンやアプリなどを使って、その人に合わせたオーダーメイドのもてなしができるような体制を整えていく中で、こうした言語技術を活用していければと思っている。（山田委員）
 - W i - F i やインターネット環境の分野は関西が日本で一番強いので、そうしたものや同時翻訳など、どんどん新しい技術を産業としても打ち出していくべきだと思う。（飯泉委員）

（2）今後の国土政策のあり方について

（合意事項）

- ・ **首都圏等災害時の司令塔機能の代替拠点の関西設置を国に働きかけることで合意**
- ・ **次期広域地方計画の名称を「関西（近畿圏）広域地方計画」に変えることについて、国に働きかけることで合意**

（主な発言内容）

【沖原副会長】（㈱三菱東京UFJ銀行特別顧問）

- ・「複眼型スーパー・メガリージョン」形成の前提となる「リニア中央新幹線」については、国からの全面的な支援が必要であることから、政府、関係省庁への働きかけ等のご支援、ご協力をお願いしたい。
- ・北陸新幹線について、コスト面や費用対効果の観点のみならず、強靱化の観点も踏まえながら検討を行っていきたいと考えており、ご協力をお願いしたい。
 - 複眼型スーパー・メガリージョンの形成は、取り組まなければならない課題であると考えている。そのため、リニアや北陸新幹線を関西にネットワークとして位置づけていくことは最低条件であり、ほか伊丹、関空の民営化に関連して、神戸空港を含めた高度利用を念頭に置いていく必要があると思っている。（井戸連合長）
 - 関西でインフラが整備されたら関西が栄えてくるということになるはず。
 - 関西広域連合でも頑張っているが、財界の方からも発言していただいて、議論を盛り上げていただきたい。（仁坂委員）
 - 北陸新幹線については、関西広域連合として2年前の4月に米原ルートということで提言をまとめているので、経済界とも歩調を合わせた取組が必要と考える。（三日月委員）

【大竹副会長】（西日本電信電話㈱相談役）

- ・国土強靱化、東京一極集中是正のために、関経連と関西広域連合がともに「防災指令塔機能の代替拠点設置の必要性」について、国に働きかけていくべき。
- ・次期広域地方計画の名称を「近畿圏広域地方計画」から「関西（近畿圏）広域地方計画」に変更してはどうかと思うので、国に働きかけていきたい。
 - 首都圏直下型地震が発生した場合を想定して、防災にかかる中核組織を関西に置くべきではないかと強く主張していきたいと考えている。（井戸連合長）
 - 名称の変更については賛成である。（各委員）

【松下副会長】（パナソニック㈱副会長）

- ・近畿商工会議所連合会が関西商工会議所連合会へと名称変更を決議された。とてもよいニュースであり、国の出先機関についても法律改正が必要だから困難と言わずに、関西広域連合から、地域のために必要であると強く主張していただきたい。